

ハツカダイコン

寒さに強く栽培容易

——永田 茂穂

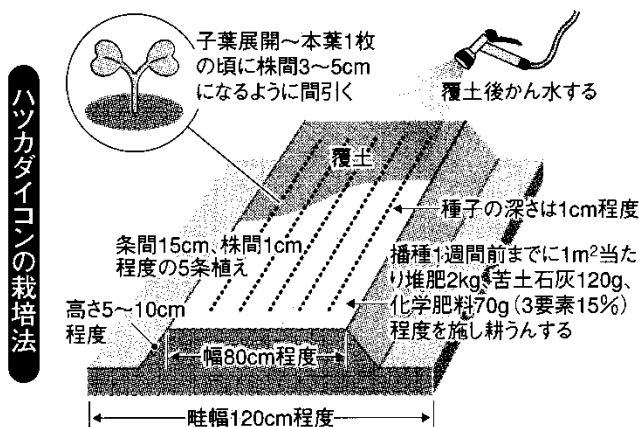


アブラナ科ダイコン属の野菜です。播種から収穫するまでの期間が、生育のよい時期で20日程度であることから、名前が付けられています。また、英語でダイコンを意味する「ラディッシュ」とも呼ばれます。

原産地は地中海沿岸地方で、明治時代に伝わっています。日本では珍しいヨーロッパ系の世界一小さいダイコンです。根の形は球形で、赤色の品種が主に栽培されますが、長卵形や白色、紅白色などの品種もあります。

ピリッとした辛みが特徴で、ビタミンCやBが含まれています。スライスしてサラダや浅漬け、甘酢漬けなどに利用されます。

生育適温は20度前後で冷涼な気候を好み、寒さには強いですが暑さには弱く、28度以上では根の肥大が劣ります。高温の夏期を除けば、いつでも栽培が可能です。



土質に対する適応性は広いですが、膨軟で排水・保水性のよいほ場を選び、播種1週間前までに本ぼの準備をします。1平方メートルに堆肥2kg、苦土石灰120g、化学肥料70g（3要素15%）程度を施し、耕うんします。未熟な堆肥を使うと根が変形したり、変色したりするので、必ず完熟したものを用意します。

畦幅120センチで床幅80センチ、高さ5～10センチ程度の畦を作ります。栽植密度は、条間15センチの5条植えて、株間1センチ程度に条

まきします。種子の深さは1センチ程度で、覆土後かん水します。発芽後、子葉展開～本葉1枚のころに、株間3～5センチになるよう間引きます。

本葉5～6枚、根径1.5～2センチになったら「す」が入る前に収穫します。春～初秋まきは播種後20～25日程度、晩秋～冬まきは35～60日程度で収穫期に達します。収穫適期は冬で1週間、春と秋で3日程度です。とり遅れのないようにしましょう。

栽培はいたって容易で、プランターなどでも手軽に栽培できます。

(鹿児島県農業開発総合センター園芸作物部長)

平成22年11月11日(木) / 南日本新聞